

ゴキブリに曲げられた人生



自然・環境マネジメント研究部 生態研究グループ

大崎 遥花



■Youはどうしてゴキブリを？

クチキゴキブリの配偶行動を研究している私は、
「なぜゴキブリを研究しようと思ったんですか？」
とよく聞かれます。
私は幼少期から昆虫が好きでしたが、最初から
ゴキブリに注目していたわけではありません。
そのきっかけは、私が中学の頃に遡ります。

■人生に鮮烈に登場したゴキブリ

総合学習の時間、何でも好きな研究をせよと言われ、
昆虫の研究をさせてくれと理科の先生に言ったら、

「じゃあ、これね。」

渡されたのは、なんと、ぷりぷりの
マダガスカルゴキブリ。
この世にゴキブリ研究者が
一人生まれた瞬間でした。

マダガスカルゴキブリ
(画：大崎)



■初めてのゴキブリ実験

中学の図書室の妙な本に
「ゴキブリに制汗剤かけたが効果はなかった」
という記述を発見した私は、「本当か？」と疑い
マダガスカルゴキブリに至近距離で制汗剤を噴射。
制汗剤のパウダーでゴキブリは真っ白に。
ですが真っ白になってもその場で死ぬことはなく、
「あの記述は正しかった」と思っていました。
しかし後日、なんと**真っ白な個体が死んだ**のです。
コントロール（比較対象）の個体は生きており、
私はこれを研究成果として発表、クラスには大ウケ、
県の大会で金賞まで受賞しました。ゴキブリすごい。

■研究者という生き物

ひとはくは日本では珍しい「研究員のいる博物館」。
**「ひとはくの裏側では、
こんな研究員たちが今日も頑張っているんだ」**
と思いを馳せてみると楽しみが広がる…かも。